

科目名				授業の種類		授業担当者	
言葉B指導法				演習		高沢貞子	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択	
保育科	2	1	30	15	後期	選択	
[授業の目的・ねらい]							
○乳幼児が心豊かに言葉を獲得していくための指導方法を身につける。							
[授業全体の内容と概要]							
○保育の実践方法を考え、保育者としての援助について深める。 ○教材研究をしながら、指導方法を習得する。							
[受講上の注意事項]							
○保育者になるための、知識や技術を学ぼうとする意欲的な姿勢で臨む。 ○積極的に発言をする。							
[使用テキスト]				[評価基準]			
保育内容「言葉」				授業態度、提出物、試験を総合的に。			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	言葉A指導法の復習			言葉A指導法の復習をする。			
2	領域「言葉」と保育方法(1)			「言葉」のねらいと保育者の役割を学ぶ。			
3	領域「言葉」と保育方法(2)			言葉の環境構成と指導計画を学ぶ。			
4	領域「言葉」と保育方法(3)			領域「言葉」の指導計画、評価について習得する。			
5	領域「言葉」と保育の実際(1)			聞くこと、伝えることについて学ぶ。			
6	領域「言葉」と保育の実際(2)			子どもの想像力と言葉について考える。			
7	領域「言葉」と保育の実際(3)			子どもの言葉を通して探る、心の世界を考える。			
8	言葉のしくみと脳の働き			言葉のしくみと脳の働きを知る。			
9	言葉であそぶ			ことば遊び、ことばとリズムを体験し、創作する。			
10	領域「言葉」と実践上の留意点(1)			豊かな言葉を生み出す環境、生活の中の挨拶について学ぶ。			

11	領域「言葉」と実践上の留意点(2)	言葉に対する感覚、絵本や文字への関心について考察する。
12	領域「言葉」と保育の総合性	実践例から考える。
13	保育者としての言葉(1)	美しい日本語、使いたい言葉、使いたくない言葉を知る。
14	保育者としての言葉(2)	保護者に対しての言葉づかい、連絡帳の書き方について習得する。
15	まとめ	学んだことの確認と試験。